

町民側の課題

平成24年1月24日（火）のワークショップのまとめ（制度別・課題別に整理）※解決策については除いています。

制度別

課題別

	パブコメ	附属機関等の公募	その他の制度・総括的なもの
関心を高める必要がある		町が公募していることを知らうとしない 町民が無関心だから応募しないの？ 応募者が少ない	協働によるまちづくりについて、その内容や必要性について深く理解されていない 町民の参画意識に差がある 関心度の低さが原因 自ら参加しようとする意欲ある人が少ないのでは
行政との信頼関係の構築		討議事項を行政が決めている（単なる追認になっている） 行政の都合の良い人選になっていないか 応募のハードルが高い（論文は専門的分野以外は不要では）	参画するに当たり、なんとなくバリアを感じる 弱者の声を吸い上げる（参画の意思はあるが） 意見を言っても通らないと思っている 町民が町政に対し、大きな期待がない 住民の行政依存体質が強い 共通認識に欠けている
自発性・きっかけをつかむ		まちづくりの大切な事をわかりやすく興味のわく言葉で説明したい まず地域活動に参加して問題点を共有しよう 参加の意思はあるが、町民の生活状況が違う 開催日時に参加できない	参画のきっかけをつかみたい人もいる 参画・協働のメニューが無いので具体的に何をするのか分からない どうすれば住民が、まちづくりに参画できるのか？（手順・道筋がわからない） まちづくりに関し、難しいイメージがあり参加できない 個人的関心は持っているが非協力的 地域の分権化が進んでいない（地域でできることは地域ですべき）

平成24年4月17日（火）検討予定分

町民側の課題→それぞれ A～F の解決策を具体的に考えていただきたい（前回のワークショップの「解決策」も活用してください。）

制度別

	パブコメ	附属機関等の公募	その他の制度・総括的なもの
課題別 関心を高める必要がある		A	D
行政との信頼関係の構築		B	E
自発性・きっかけをつかむ		C	F